

概要

現在、日本では Society5.0 という社会の進化に伴い、ロボット技術の向上や 6G、デジタルツイン、AI などの新たな技術が登場しています。これにより、IT に関するスキルを持つ技術者がますます需要とされるようになっていきます。しかし、日本と比較して、IT 企業数は多いものの、組織や企業の IT 部門が少なく、IT に取り組める技術者の数が不足している現状があります。また、デジタルトランスフォーメーション（DX）という概念も注目されています。DX は組織や企業がデジタル技術を活用してビジネスモデルやプロセスを改革し、競争力を向上させる取り組みです。DX には多くの利点がありますが、同時にいくつかの課題も存在します。たとえば、DX には専門的な知識やスキルが必要ですが、組織内にそれを持つ人材が不足していることや、DX には投資が必要であり、予算やリソースを確保することが難しいことが挙げられます。将来の予測は不確実性や複雑性が伴い、困難なものです。そのため、個人や組織は変動性や不確実性に対応しながら成長し続けることが重要です。自身のやりたいことを持ちながら、新たなスキルや知識を身につけていくことが必要です。

感想

日本では IT 企業数は多いが、組織や企業の IT 部門が少なく、技術者の不足が問題視されている。これは日本が新たな技術に追いつくためには、IT に取り組む環境を整える必要があることを示している。また、DX の重要性と課題も浮き彫りになっている。DX の実施には専門的な知識とスキルが求められるが、組織内にその人材が不足していたり、投資や予算確保が難しいという課題がある。将来に対する予測は困難であり、不確実性や複雑性が存在する。そのため、個人や組織は変動性に柔軟に対応し、持続的な成長を追求する必要がある。自身の興味や目標を持ちながら、新たなスキルや知識を獲得することが重要だ。この講義は技術者不足や DX の課題に焦点を当て、現実の課題に対峙し、解決策を見つける意義がある。個人としては、将来の技術進化と社会の変化に適応し、自己啓発を継続する意識を持つことが重要だと感じた。